

## 会 議 録

会 議 の 名 称	第4回宍粟市ごみ収集等手数料あり方検討委員会	
開 催 日 時	令和5年10月2日（月）午後1時30分～	
開 催 場 所	宍粟市役所3階庁議室	
議長（委員長・会長） 氏 名	委員長：福山千鶴、副委員長：落岩一生	
委 員 氏 名	（出席者） 宮脇昭介、菅谷省三、井原達夫、 中津恵美子、福山千鶴、長田茂伸、 多田千鶴子、城下清美、春名堂司、 井上由岐子、土井景子、廣井久美、 宮内よし子	（欠席者） 落岩一生
事 務 局 氏 名	宍粟市市民生活部 部長 森本和人、次長兼課長 榎木 隆、副課長 大西常広、 係長 雛倉 剛、 にしはりま環境事務組合 総務係長 岸根 潤	
傍 聴 人 数	1人	
会議の公開・非公開の 区分及び非公開の 理 由	<input checked="" type="checkbox"/> 公開・非公開	（非公開の理由）
決 定 事 項	（議題及び決定事項） ・前回の検討委員会での質問や意見に対する回答 ・ごみ収集等手数料（見直し案）について ・今後について	
会 議 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料 等	・説明用資料	
議 事 録 の 確 認	（委員長等） <u>委員長 福 山 千 鶴</u>	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
事務局	1. 開会
委員長	2. あいさつ
委員長	資料と発言の修正について、事務局から説明よろしくお願いたします。
事務局	3. 検討事項 (1) 資料と発言の修正について 資料と前回の発言の修正について説明させていただきます。最初に資料1を見てください。ゴミ袋の比較の表中、佐用町の45リットルを30リットルと間違えておりました、佐用町が45リットルで40円というのを修正後に入れさせていただきました。それと30リットルが、前回40リットルに入っておりましたので、25円に訂正させていただきます。また、発言の修正ということで、資料2の3ページですけれども、令和3年度のごみ収集の内訳、大体7億円の中で、直営の収集費が入っていないと言っておりましたが、実際このグラフにありますように、直営班の人員費3500万円ほどが入っております。間違えておりましたので修正させていただきます。それと、ゴミ袋代が7億円の中に入っているという説明をさせてもらいましたが、実際は入っておりませんでしたので、修正させていただきます。
委員長	今の訂正案で分かっていただけましたでしょうか。大丈夫ですか。それでは次の、前回の質問や意見についての項目でよろしくお願いたします。
事務局	(2) 前回の質問や意見について 前回の質問でゴミ処理経費に対する地方交付税はどれくらい入っているのかという質問があったと思います。それが資料の3ページ、資料2ですけれども、ゴミ経費の歳入歳出を上げております。歳入で交付税がいくら入っているか確認したところ、ゴミ処理分が1億5000万円ほど入っております。また、ゴミ収集等分が4000万円ほど入っております。ゴミ処理分は、にしはりま環境事務組合負担金の業務経費の中からはなりますので、2億円中1億5000万円が入っていると思います。それと収集の方は、これも2億円ほどあるのですが、収集費が4000万円、考え方は10万人規模の都市でかかっている費用の平均を人口で割戻して計算したものです。
事務局	少し補足させていただきます。このカラーの資料の説明ですが、左側が歳入の内訳で7億円。それに対して、歳出が同じく7億円で、その内訳は今説明した交付税の充当分が灰色と黄色の部分で、今回検討しているゴミ袋代はこのゴミ収集等手数料他というところで、5%の3500万円ほどで、あとは一般財源となっております。
事務局	次の質問に対して回答します。ゴミ処理費の詳細を教えてくださいということで、先ほどと同じ資料ですけれども、歳出の内訳を挙げさせていただいており

	<p>ます。点線の丸で囲っているものがにしま環境事務組合分担金で半分以上の6割ぐらいになります。それと収集費のうち1番大きいものが、可燃ごみ収集委託料で、約1億円あります。その次に大きいのが資源物、あと粗大ごみ、不燃ごみというように収集費の内訳を挙げております。それと最終処分場の運営費、処分場費が1300万円ほど挙げております。</p> <p>次に、市ではどういう風に考えているのかと言われていたと思いますが、あり方そのものになります。他の市町村の例だと、岐阜県多治見市では収集費用の4分の1の負担を3分の1にしたいとか、ごみの先進地ですけど、徳島県上勝町では、ごみ処理費には税金を使わないとか、海外の例だと独立採算性でこれも税金をできるだけ投入しないという考え方があります。あとで値上げの案とか出てきますが、そういったことも参考しながら、市の方針としてどうあるべきかという案を提示したいと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>分かりにくい部分とか質問はありませんか。私のほうからちょっと、ごみが減るとどの辺でメリットがあるかということと、ごみを減らすことによって、ごみ袋を使いませんよね。そしたら、結局ごみ袋の収入は減りますよね。その辺の兼ね合い、ごみが減ることはすごく大事なことです。そうすれば、ごみ袋の収益としては、入らないわけですよね。でも、ごみは減らさないと駄目ですよね。ごみを減らすことによって、ここの収入の部分で、メリットとして上がる部分はあるのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>ごみ収集に関しましては、積算して入札するのですが、積み上げの考え方は、どれだけごみ収集に時間を費やすかということになります。ごみを積み込む時間と、ステーションを移動する時間、それとそれをにしまクリーンセンターに持って行く時間、これに人件費とか損料とかを足していくこととなります。収集時間は、ごみがあってもなくても市内中回っていかないといけないので、そういう意味では、そんなには減らないのかなと思います。ごみが少なくなることにより、収集の区域を再検討して、長期的には効率的な移送するルートを開発するというので、安く抑えることにはつながると思います。にしま環境事務組合の分担金は重量割なので構成市町でのごみの割合が減れば、業務経費で分担金は減っていくということになります。ごみ袋ですが、おっしゃるようにごみ袋を買うことで収入が入るので、ごみ袋の買う量が少なくなると歳入は減るということになります。</p>
<p>委員</p>	<p>私もこの表を見て、このごみ収集手数料他という歳入の部分が3500万円じゃないですか。でも、こっちは歳出ではもう既に直営の人件費だけで3500万円ほどいっているし、ごみにかかる費用も、歳出のところは出ていますよね。ごみ袋の値上げをして、この歳入のところが上がっても、到底今使っている部分には追いつきませんよね。その出た分は、一般財源のところに入っていきような形になるのでしょうか。何かちょっとお金の動き方が、それこそこの間ににしまクリーンセンターに行ったときも、これ以上ごみが減っても、これ以上ごみが増えても、かかるエネルギーは一緒だし、24時間動かす労力とかエネルギーは一緒ということなので、宍粟市だけがごみ袋を上げて、値段を上げて、歳入が上がっても、ごみを減らすという部分と何か矛盾しているような気がす</p>

	<p>るんですね。ごみは増えても減っても、エネルギーは一緒だけど、ごみ袋の値段を上げないといけない。そこが、何かうやむやになっているような気がして、本当に話をしないとけない部分を逃れるような、この前回の議事録もそういうふう感じて、ちょっと読んでいたのですけれども、今おっしゃったようにごみが減っても、ごみ袋の値段が上がっても、回収する時間や移動時間、ごみがなくても回る時間は変わらないってことは、何か回収する業者さんのためにごみ袋を値上げしているように感じてしまいます。何かがおかしいなって思います。</p>
事務局	<p>今言われていることは確かに、そういう思いを持たれるのは仕方ないかなというところがあるのですが、基本的に、歳入でごみ収集の手数料の部分、ごみ袋の料金を値上げすることによって増やすといった場合、当然、歳入の一般財源は減っていくわけです。歳出のこの7億円というところを下げると。これを例えばもっと少ない金額にしていくという努力と、歳入を上げるという考え方ですが、この歳出は基本的ににやはり環境事務組合負担金が多くウェートを占めています。この部分については、先ほど説明した通りごみが減れば、いくらかは減ってくる可能性はあります。また、委託料につきましては、業者のところを補填するために上げているのではなく、この広い宍粟市で、各ごみ収集のステーションがありますが、あるかないか分からないが、そこに定期収集することになっておりますので、どうしても行かなければいけないということになります。ごみの量が減って、例えば、空のステーションが数多く出てくるとか、皆さんの考え方でステーションの数を減らしてもいいのではということがあれば、その辺を見直せば、この委託料については、当然、回る数が減ってきますので下げることも可能です。今のところは去年、おとし、業者の回収に同行し、現地調査を行いました結果、全然収集がないステーションもありませんし、ごみが少なからうが、今のステーションの数を収集しようとするれば、これだけのものが上がっていくこととなります。ごみの量が減ったから、この委託料が減るというところにはなかなか直結出来ないかなと思います。ごみを減らしてもらいたい、ごみを減らしても委託料は減らないというちょっとジレンマみたいなところがあるのですが、ただ、今私どもが最初から説明している歳入のごみ手数料のオレンジ色の部分、この割合、この金額がずっと見直しが見直されていない。歳出がずっと増えているのに、手数料が見直しされていないところがあるので、その辺を皆さんに考えていただいて、手数料を、このオレンジの部分の少しでも増やす。排出者負担という話も用意してきたのを、出す方に負担していただくという考え方をもとに、この部分を上げていくべきではないのかなというところを検討していただいているところであります。</p>
委員長	<p>本当にこのごみ問題って矛盾を抱えていますよね。ここにリサイクル率も書いています。宍粟市結構、この資料3からしたら、リサイクル率高いですよね。でも、このリサイクル量で、結構、収入としては入るのでしょうか。金額的なことで言わしてもうたら。</p>
事務局	<p>にしはりまクリーンセンターで鉄とかを売ったりしていますが、1000万円はたしか超えていたと思います。鉄など素材の価格が上がれば、売却益も増えます</p>

事務局	<p>ので、その収入と分担金を相殺するという形で歳出が減少するしくみになっています。</p> <p>自治会の資源物ステーションで集めておられる、びん、缶、ペットボトル、それと布とか新聞とか、今のところ少しコロナの関係で若干減っている部分もありますが、今年度で約 150 万円の予定です。当初は 300 万円とかありましたが、去年、おとしの実績でいくと 80 万円しかない年度もありました。一応、今回の令和 5 年度につきましては 150 万円ぐらいの予定ではあります。全部、連合自治会及び自治会に還元するという形になっています。</p>
委員長	<p>何で聞いたかっていうと、ごみを減らすというのは、仕分けをきちっとすることによって、ごみがリサイクルになります。今後のあり方の中で、ごみじゃなく、リサイクル量を増やすことによって、収入源にちょっとでも近づいたらいいなという思いの中で今、お尋ねしました。1 番にその辺のことを考えていかないと、環境的なことも含めて今後のあり方として出てくるので、袋代も含め、手数料も含め、リサイクル量を上げるとかいろんな方向で次のステップを考える段階に、一緒に考えてほしいなと思いました。普段思われていることで、袋代が変わらないのになぜお金だけ上がるというのもほんまやし、でも実際の話、今まで上げてないけど、その辺で一度見直す手段として、ちょっと提案したいなというところもしかりなので、その辺みんな思いをしっかりと出しといてもらわないと、次のステージに行けないので、思いをしっかりと出してほしいなと思います。</p>
委員	<p>まず、ごみ袋のある程度の値上げは仕方がないと私は思っています。それから、歳出のほうに関して、やっぱり可燃ごみの収集の、こここのところの経費を減らすということは非常に難しいかなあとと思います。可燃ごみ以外のもので、何とか回数を減らすとか、そういう経費を落としていくということではできないかと思っています。可燃に関しては、それは難しいのでね、資源物ステーションの物とかの回収については、集まり具合によって、もうちょっと回数を減らすことは可能やと思います。というのが、うちのすぐ前にも資源物ステーションがあるのですが、この間も来ていて、ぱっと開けてなかったら、すぐ閉めてそのまま帰っていたのを見ていたんです。だから、どこもがそうじゃないけど、そういうところもあるので、今のサイクルで回収する必要が絶対あるのかどうか、もうちょっと減らしても回るのではないかいうことは検討の必要があると思います。</p>
委員	<p>ステーションの話が出たもので、自治会で 2 か所、川戸なんかは回収ステーションを設置していますが、そこへ入れるのに、いろいろな制約があるので、民間の業者さんのほうへ持って行くみたいなの、本当に割り切った考えをされる方もあったりします。その業者さんの儲けといえば語弊があるのですが、そちらへどれぐらい行っているとかいうのは、把握は難しいですか。</p>
事務局	<p>民間の回収ボックスですよね。そちらの情報は全然ありませんが、店頭回収に関しましては県から、年に 1 回データが出てきます。民間の回収ボックスのデ</p>

委員	<p>一タはないですね。</p> <p>みんなにもっと興味を持ってもらえたら、それは、仕分けに関してもそうなのですが、出し方に関して、興味を持ってもらえたら、そういうふうにつながっていくというのが、まだまだねえ。ごみやでいうて、ぼいというかね、考え方がちょっと横に置かれているのかなと思ったもので。今の収集場所がもう変えられないっていう前提で今は走られていると思うのですが、変えられないというところから走ってしまうと難しいので、仮に変えた場合はこうなるとかね、そういう発想も、当然、個人の負担は増えるとは思いますが、そういう考えでも持たない限り、今の説明の中では、絶対経費は減らないみたいな、こちらへの説明をされているように聞こえてしまう。何かそういう斬新的にというか、今までと同じ考え方では、無理なような気がします。</p>
委員	<p>私も何かそういうところは同じように思います。やっぱり市民がいろいろ考えて、ごみの袋は上げないように、今まで、現状でね、3500万円というところの手数料でやってきている。今まで見直しがなかった。この機会に見直ししようという考えがそもそも何か違うような気がしています。今までこれで出来ているのだったら、ここはこのままで、他の部分で一般財源を減らす努力をするべきだと感じました。あとは歳出の業者委託の部分が、どんどん増えているようであれば、なぜ業者委託の部分が増えていくのか。ほかの粗大ごみだったら、粗大ごみの部分が増えているとか、歳出の部分で何が増えているのか。歳出の部分で減らすような努力は出来ないのかという部分を思いましたね。業者委託の部分でいうと、ごみを回収するルートとか、ごみがなくても回収日には回収しないといけない。でも来たらごみはなかった。次、回ろうかというそういうところで、収集の金額が、市民からの分で業者に払っていくような歳出の分が増えるのであれば、そこをもうちょっと見直したほうがいいのではないかなとも感じました。見直すべきところが、ごみの袋でなくても、他の部分で見直す部分があるのではないかと感じました。</p>
委員長	<p>実際、皆さん袋代自身が手数料として特別に高いという認識はないと思います。でも、それよりもまず、そういう収集の歳出が減る方法を考えるのが大事なのではと思う。努力目標として、その部分は出さないと次のあり方にいかないかなと感じます。実際の話、今言われる、過疎化のところは行かなくていいという話にもならない。でも、その過疎化の部分も、それなりの減らし方はあるのではないかとこの考え方も持っていないといけない部分もあるというところなんですよね。だから、自分の地域しか見えないと思うので、どんどん、その辺のことを、自分の見える地域の中で発言をお願いしたいなと思います。</p>
委員	<p>今までの中で、収集場所が増えるというときに、マンションやアパートが出来たときには、要望によって増えるということもあったと思うのですが、例えば、増えるのであれば、一つのステーションを増やす、設置料みたいなものが発生するという考え方はどうか。今までずっと、ごみを出すことに関して、袋代以外は負担していない。当然、自治会なり、その隣保なりが設置場所を決めて、</p>

	<p>そこで回収、そこはきれいに清掃していくみたいなことになっていますが、例えば、新しいマンションが増えました。増えたのだから、当然経費も増えます。当然増えた経費は、ある程度は負担していただくという考え方も、どこかでは出てくるのかなと思います。そうすれば全てのステーションに関しても、そういう負担が必要、当然、ゼロがいいのですが、考え方の中では、そういう経費が増えるのであれば、当然、一つのステーションに対して、改修費用が発生するというのであれば、負担という考え方も出てくる可能性もあるのかなと思いました。</p>
事務局	<p>前回もお話したステーションの受益人数が、合併前一つあたりのステーションで40人ぐらい受益人数が、市の人口が25%ぐらい減少した為、30人ぐらいになっています。そういう意味では負担は増えているということです。個別のところ負担を求めるのは、現在のところでは考えていませんが、負担自体はそういう意味では増えているのかなと思います。</p>
委員長	<p>地域が負担するか、個人が負担するか、その辺も今の意見から考えさせられるところですけど、どのように考えていったらいいでしょうね。</p>
事務局	<p>皆さんにいろんな意見をもらいたいのですが、ステーションを例えば半分にする。半分にしてしまったら、この委託料は単純に半分にはならないですけど、当然回るところが減ってくるので、時間とか労力が減るので、いくらかは金額を抑えられます。山崎とか、北部で、同じ半分にするとしたときに、全然その半分の意味合いが違ってくるといえるか、当然北部では人口が少ないので、例えば、大きな自治会でそれを半分にするとなったときに、基本的には各隣保とか、そういう単位の一つあるものが、3隣保の一つとかになってくると、どこに設置するのか、高齢者はどうするのかとか、いろんな問題が出てくると思うので、その辺を皆さんに意見をいただきたい。単純にここを下げようと思えば、方法とすれば、ステーションの数を極端に少なくするしか方法ないのかなと思います。先ほど説明の中でも漏れていましたが、この7億円で多くを占めている委託料は年々上がってきています。今までも資料を出しておりますが、積算の中で人件費の高騰や燃料代の高騰とかがあって、その部分については、積算して発注する分ですから、単純に削るとするのはちょっと難しいかなと思います。方法とすればステーションの数を減らすとか、この後担当から説明があるかもしれませんが、ある町ではステーションを持たない、1か所だけにするとか、全部市民の方々に負担してもらってというような考え方でされているところもあります。その辺、いろんな地域から参加いただいていますので、ここまですべてのステーションの数を少なくしても仕方ないのではとか、いやいやなかなか難しいのではというような意見をいただきたいというところがあるので、よろしくお願いします。</p>
委員	<p>前回の会議のときに私は、経費のこともあるけど、高齢化社会、特にこういう田舎なので、ステーションを減らすことは、ちょっと難があると申し上げた。自分でもちゃんと覚えています。でも、本当にそれしか歳出を減らす方法がないということになるのであれば、市役所の方だけで決められるというのは違</p>

	<p>うと思います。やっぱり自治会なりにそういう相談を持ちかけて、今まで二つあったものを一つにするのではなく、できる限り、どれぐらい減らすことができるかという相談があったりとか、そういうことがごみの減量化に、みんな自分たちが意識するきっかけにもなると思います。今までだったら、収集場所に持って行って、ゴミ袋さえ買ってれば、ごみはちゃんとしてくれるのが当たり前、あと自分たちは何もしなくてもお金も出さなくてもしてもらえるのは当たり前だったのが、そうじゃなくなっている。そうでは、立ち行かんようになってきているということの認識をするという意味では、減らす減らさないは後の問題としてとりあえずあってもいいかなあとは思います。</p>
事務局	<p>貴重な意見ありがとうございます。おっしゃるとおりで、今宍粟市は合併してから以後、ステーションの見直しを1度もしておりません。ごみの収集、ごみに関することについては、自治体が責任持って、住民サービスを下げないという一環の中で、これまでステーションの見直しを図っておりません。そういった中で、民間、兼ねては直営でごみ収集しておりましたが、これも時代の流れの中で、ごみ収集も民間への委託ということになっております。事務局からもあったように、ごみの収集にかかる経費、人件費であるとか燃料費、またパッカー車の部分についても業務委託とすとなれば、民間の委託料も上がりますし、もちろんゴミ袋、これを製造するに当たっての燃料の高騰、そういった様々なところで経費が上がってきているのが実情でございます。収集経費を見直すというのはもちろんでございますけども、昨今の物価高騰等や他市町の袋代も提示する中で、ゴミ袋の見直しを出来ないかなという提案をさせていただいたところでございます。それと委員さんが言われたように、そのステーションの見直しについては、今まで、市がそれぞれの自治会からの申出によってステーションを設けているところもあって収集をしておりますので、もちろん見直しになるとなれば、自治会に相談等をさせていただいて、見直しを図るのが筋でございますので、もしそういうような形になれば、必ず自治会等に話を持ちかけていきたいと考えております。</p>
事務局	<p>前回の質問がまだ残っておりますのでお答えします。ごみ減量が成功している例を教えてくださいという意見がありましたので、資料3、4ページのごみ施策先進自治体等の比較で挙げさせております。</p> <p>そこで各市町の1人当たりのごみ排出量、リサイクル率、分別数を上げていますが、特に有名な徳島県上勝町、人口の規模が1500人、1人当たりのごみ排出量が550グラム、リサイクル率が81%です。分別数がかかなり多くて、13品目45分別で、ここは、収集がそもそも出来ないようなところで、拠点回収型で町に一つの拠点に、町の皆さんが持ってくるような方法になっています。そういうことで、81%のリサイクル率を上げています。それと相生市をあげていますが、上勝町と同じく市役所の前に拠点がある拠点回収型ということで、例を挙げております。相生市は19分別になります。それと、上勝町と全く違う京都市、150万人規模の大きな都市ですが、ここは、1人当たりのごみ排出量が半減したという成功例です。平成12年には1人当たり1530グラム。リサイクル率2.1%だったものが、令和元年には半分で795グラム。14%のリサイクル率になっております。ここは埋立てをする最終処分場の容量が逼迫したこ</p>

	<p>ともあって、必死で削減したということですが、平成 18 年からごみ袋を有料化したことにより、ごみ量が 21.2%削減したということで、これぐらいの大きな規模で有料化するところは珍しいと思います。あと、参考までに、全国は 1 人当たりのごみ排出量は 897 グラム、兵庫県は 887 グラムですが、リサイクル率は全国の方が高くなっています。</p>
<p>委員長</p>	<p>成功例にステーションでの回収なしとか、いろんな部分がありますが、実際、今言われるように、回収するところを分散しなかったら、多分、最初は減ると思う。でも、本当にそれでいいのかどうかというも含めながら、今成功例も言われたけど、地域性の違いも含めて、人数が少ないから統一がしやすいという部分もあるし、自分のところ自身が、ごみにかかる経費を外部にお願いしているという、そういうやり方もして、それはそれでいいと思うけど、宍粟市の規模ではそういうことは出来ませんよね。そしたら、何ができるでしょう。京都市は、有料化によってごみが減ったのは、実質そうだったのですね。</p>
<p>事務局</p>	<p>有料化前から結構努力して減り続けたところに、また、有料化したという格好になります。</p>
<p>委員長</p>	<p>努力はどんな努力か分かりますか。努力と言っても、いろんな努力があるのですが。</p>
<p>事務局</p>	<p>元々分別がなされてなかったので分別したり、生ごみ処理機の普及であったり、移動式拠点による回収とか、そういうことを積み重ねて減らしたと聞いております。</p>
<p>委員長</p>	<p>要は、今、宍粟市のやっていることをしたことによって、ごみは減ったということなので、今の時点で宍粟市がどれだけのことができるかなということですから、ある意味京都市と比べたら宍粟市は成功している方だと思うし、リサイクル率にしても決して悪い率ではないから、仕分は皆さんされていると思います。それ以上の努力はしてもらって、啓発はしていかないといけないと思う。まだまだごみの中にいろんなものが入っているし、その辺をしてもらったら、もっとリサイクル率は高まると思います。それは皆さん、一人一人の個人の問題なので、もう啓発しかないですけどね。前にプラごみがないときがあるとされていたと思うのですが、その辺はどうですか。</p>
<p>委員</p>	<p>ないというわけではないですけど、やっぱりステーションの中の占める割合といますか、燃やすごみはどの家庭も出しているけど、プラのごみに関しては、件数分の袋がないといますか、出してない家は全然出してないように見えました。そういう意味で言ったかなと思います。だから、プラは私たちのところだけかもですけど、もう少し回収の頻度を下げても大丈夫かなとは思いますが。ちょっと他のことは分からないです。</p>
<p>委員長</p>	<p>今言われたみたいに、地域によって回数を増やしてほしいというところもあれば、これならもう少し回数を減らして、委託料を軽減する方法があるのでは</p>

事務局	<p>ないかなというのは、各自治会の中で出てくる可能性はあるわけですね。それはもうここでは出来ないの、自治会に持って帰って出してもらわないといけないことですが、その話とごみ袋の委託の金額との兼ね合いをどう考えていったらいいでしょうね。これで一応質問と意見は全部報告していただいたので、なかなか難しいと思いますが、手数料の案をお聞きしたいと思います。</p> <p>(3) ごみ収集等手数料（見直し案）について</p> <p>この5ページ資料4ですけれども、手数料の見直し案ということで、見直しする考え方ですけれども、一般廃棄物処理基本計画を市が作成しておりまして、その中でごみ処理経費の財政確保とか、市民のごみ排出に関わる責任と意識改革、ごみの抑制を期待するということで、ごみ手数料見直しを検討すると書いております。それと環境省が出しております一般廃棄物有料化の手引きで、再生利用の推進であるとか、住民や事業者の意識改革等ということで京都市は、これに値すると思いますが、有料化で効果を上げたところだと思います。それと宍粟市の手数料の見直しに関する基本方針がございまして、令和4年5月に作ったのですが、実際想定する費用と、実際の理論的手数料とのお金に差が出来たときに、大幅な値上げを抑制するという、最高1.5倍を上限として見直しするという方針がございまして、それに基づきまして、その資料に挙げておりますように、10月1日からはインボイスの関係で、可燃大の単価が、税抜で1枚23円、可燃小が19円、不燃が19円、粗大は19円ということで、先ほどの方針や考え方に基づいて、1.5倍以内で可燃大を5円上げよう、可燃小と不燃を3円上げる、粗大に関しましては、これは資料5の6ページになりますが、宍粟市は、兵庫県下で比較してもかなり安いとか、他のところは毎週定期的な収集をせずに直接持っていくとか、予約して持っていくとか、そういうところがあります。そのところを考へまして、通常方針としては1.5倍を上限としますが、2倍近く18円上げるという案を挙げさせていただきます。それで、見直し案では、1枚当たり可燃大が28円、可燃小が22円、不燃が22円、粗大が37円で、1セット当たり税込みで、616円、605円と814円になります。これで収入に関しましては、旧ごみ袋手数料3000万円に対して3900万円になりまして900万円ほど上がるということで、これがごみ処理費用に充てられるという案を提案させていただきます。</p>
委員長	<p>この見直し案で質問等がありますか。ここにおられる方ご存じある人が半分ぐらいかなと思うのですが、昔、粗大ごみに関しては、大体、ミカン箱1個分に1個貼ってくださいとかという、そんなことを覚えておられる方ありますか。だから、変わってからですね、出すのにシールを5枚ぐらい貼っている方が最近おられた。私も知らず、大きさによってシールをたくさん貼るのかなと思って、ステーションになってからでも貼っていたのですが、見直したら、最大以上の物を出すのなら別途持っていくといけないけれども、枠内の物は、1枚でもいい。だから、大きくてこの机ぐらいでも1枚、ミカン箱でも1枚、今はそういう出し方ですね、知っておられましたか。それを切って出すなら分かるけれども、切れない物は、それでも1枚、ミカン箱、リンゴ箱でも1枚、そういう形から考えたら、そういう方法もあるかなと思ったけど、その判断誰がするかというたら判断出来ないから、ちょっと他のより高めになったのかなあとい</p>

委員	<p>う、この判断ですけど。実際の話、粗大ごみの大きな物に1枚だけなのか。悪いけど安いなあと思うことは、今、実際ステーションを見ていてあります。これも1枚、これも1枚というのは、現在も思います。だから、粗大ごみがうんと高くなったなというのは思うけれども、大きさいろいろというところで、この判断なのかなと思いました。</p> <p>私もごみのとき、いろいろ思うのですが、その粗大ごみに関しては、本読んで、気付きます。読んだら気付いて今こうなっているということを出すじゃないですか。実際、ソファがいらなくなったときに、これを車に積んで、ごみステーションに降ろす労力を思ったら、このままクリーンセンターに持っていく方がいいと思う。軽トラから降ろすのも楽だから。でも私たちの年齢でも、やっぱりそういうことを思っでごみを出しているんです。私の地域でも、家からごみステーションまで、粗大ごみは車で運んでいます。重たいから、歩いて持っていけない。それは多分年齢関係なく、高齢者になっているから、高齢化社会になっているからだけじゃなく、若い世代でも、私たちの世代でも、やっぱり重たい物を、地域によっても、隣保にすぐあるごみステーションもあれば、離れたところに設置してあるところもある。それも自治会で決まったことですけど。少し話は戻りますが、やっぱり市民のことで、ここにいる市民だけの声だけ拾っていても、結局この声を議会に持っていくと、そうなるかは分からないし、やっぱりこれは市民の身近に感じるものだからこそ自治会に話は持っていかないといけないのかなとも思います。じゃあ、ごみを出すにしても、今現状、歩いて持って行ける距離だから、ここの地域はここでいいです。それはそれで自治会で決めたらいいと思います。でも、私たちのところは、現状でも、車で運ぶ距離にごみステーションがあるので、だったら、資源ごみは今、自治会の公民館とかで1個設置しているので、私が思うには、私の地域は、公民館の資源ごみ回収のところに、不燃ごみも、結局車で運ぶは一緒だから、どこで降ろすかだけなので、そういう回収方法にするのも、回収場所を減らすという部分では、地域によっては様々出てくるのではないかなと思います。もう一つあった話は、私の地域でも、プラの日は、20戸あるところでも、プラ回収日は4袋ぐらいです。不燃ごみも20戸あっても、今の回収のサイクルでも二つぐらいです。それを思うと、雨にさえ当たらなければ、発火するとかそこはちょっと分からないですけど、不燃ごみも、プラも、腐るものは入ってないじゃないですか。そうなれば、雨の当たらないところをつくって、自治会の公民館に一つとかでも、腐らないし、においが発生しないなら、水分が漏れないなら大丈夫なのかなっていう発想もあります。そんなふうには思いました。この1.5倍を想定してというところもやはり、今、こうなりましたっていう広報に発信したとして、どれだけの市民が、ああそうなんやって受け入れる、受入れられるのだろうっていうのはやっぱり疑問に思います。もっと自治会で話してみてもいいと思いました。</p>
委員	<p>個人情報関係もあると思いますが資源物回収ステーションの方は名前がない。それぞれ隣保のごみステーションでは名前がある。名前を明記して、ごみ袋に書いておりますが、資源物ステーションの方は無記名なので、非常に困るときがあります。その人なりに、分かった状態で見られているのですが、</p>

	<p>その分かった状態が、やはり漏れがある。いろんなものが混ざっているとか、洗い方がおかしいとか、自治会で担当していくときに、あなたは間違っていますよと言いたいのです。ただ、個人情報でと言われてしまうと、つらいところがあるのですが、やはり今、もっとしてもらいたいのは、回収の方法もそうなのですが、やはりみんなまた来ているわと言って、ぼんと置いてしまって、私は正しい分別方法で出していますと思込みをされていて、ある程度、自治会の担当者がそのものを仕分し直したりしながら、清掃もしながら出ていったと、その繰り返しでね。間違っ出されている人に、なかなか的確に返せないというところもあったりして、その手間、当然、回収業者に段ボールも十字にくぐれとか、いろんなこともあるのですが、その手間というの、また、経費がかさんでいくところで、行政の方からはいろいろお知らせなども出されているとは思いますが、やはりもう少し分かってもらえるように、ひとつまた努力をお願いしたいなと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>私もごみの分別とかそういうことで、ここが問題とかここがどうかという業者さんから聞かれるようなことがあると思う。そういうのを、この紙A4、1枚でいいから、お年寄りまでみんなが分かりやすく、そうなんやって気付けるような、何かそういうやり方をしてもらったらいいのかなと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>分別はとっても難しいと思います。自治会の方の言っていることも分かるし、名前があるかないかによってね。ごみステーションに出すところは書いて、資源物ステーションは書かない。うちの方もよく置いていかれたままシールが貼られている。やっぱり今までしてきたことを変えるっていうのが、小学生とかはすぐできると思いますが、年を重ねてくると、何でも正しいと思込んでいるので、うちの母もそうですけど、何回言ってもやっぱり出来ないのです。プラスチックでも何でも入れればいってものではなくて、ちゃんときれいにして入れなよと言うのだけれど、そうじゃなくてほしい。それやったら普通の燃えるごみで処分したほうが良いと言っても、やっぱりちょっと難しいところはあると思う。どうしたらいいのでしょうかね。こういう冊子をいただいて、読んで理解するっていうのも、だんだん分からなくなってきた、読むのもおっくうになったりしている。あんまり詳しく言われたら、薬品のチューブは同じプラスチックの薬品は駄目、びんでも薬品のびんは駄目とか、化粧品のびんは駄目とかと言われるともっと混乱していると思うので、やっぱり難しいですね。どうしたらいいでしょうといつも思っています。</p>
<p>委員長</p>	<p>実際の話、分別で、私ら自身も分からなくなってしまっている。でも、ごみの分別はやっぱりやっていかないといけないところになるのだけ。そしたら、ごみの袋代はどうしましょう、手数料代はどうしましょう。その中で手数料イコール袋代みたいな形になっているのだけれど、実際、ほんまに根本的な手数料をごみ袋代で代用してもらえかなという提案の中で、どう考えていたらいいのでしょうかね。今言われるように、もっと違うところを考えたから、袋代云々より議論しなければいけないという意見も出ているし、手数料は手数料で、このぐらいやったらいいのではないかな。その代わり、何とかごみ減らしとかほかのことを考えて、今二刀流で話が出ていると思います。その辺をどう、</p>

	<p>今後の方向としてこの会としてまとめていったらいいのかなと思います。自治会長さんも地域でいろいろな意見が出ていたり、自分自身が悩まれていることもたくさんあると思います。この機会ですので、発言をお願いします。</p>
委員	<p>にしはりま環境事務組合に関わっている市町も同じように議論されているのでしょうか。</p>
事務局	<p>今、聞いているところでは上げるという話は聞いていません。</p>
委員	<p>宍粟市だけの問題として取り組んだらいいわけですね。</p>
事務局	<p>構成市町の中では宍粟市だけだと思います。</p>
委員	<p>この円グラフで、環境事務組合関連が半分以上占めているわけですが、それでごみ袋等を上げるとなったら、相当上げないと追いつかないなと思ったりしたのです。7月、8月ぐらいに、宍粟市の財源で利益が上がったと、神戸新聞で何億か出たなという小さな文字を見たのですが、当初の話もお聞きしていますので、それを充てれば、一遍に解消するのではないかなと思ったりもしました。ただ、それはもう1年ぼっきりのことなので、無理かなとも思う。もし、上げるを得ないのであれば、今提案のあった5円、3円、18円ですね。これ何年もちますでしょうか。非常に低い感じがする。戸数も減り、人も減り、今回上げるのならば、もう少し上げておかないと、5年後またやるとなれば、ちょっと早過ぎる見解になると思う。10年はもたないといけないと思う。その先を読んでの上げ、他の市町も議論していただくというように持っていくと、宍粟市だけの問題で2円、3円、5円上げて、補えるのかどうかというところも出てくると思うので、そここのところをお願いしたい。</p>
事務局	<p>1番最初の時から説明しておりますが、この円グラフのごみ手数料で、一般財源を出さなくて済むという考えは今のところ市は持っておりません。当然、今回もこのあり方について皆さんに意見をいただきたい。市が提案しているのは、宍粟市合併以来、ごみの料金だけが全然変わっていないというところが一つありまして、支出の部分がずっと上がっているのに、ここの部分は全然変えないままきているので、一度皆さんに検討していただいて、歳出の部分を僅かでもいいので、これを例えば倍にするとか、10倍にするとか、先ほど言われたみたいに、5年後10年後のことを考えると、もっと上げたほうがいいのではないかという意見もいただきました。今、担当とすれば、ここを急激に倍にすることは考えておりません。先ほど担当から説明しましたが、約5割、1.5倍を水準に考えようということで、この金額を提案させてもらっております。その辺について、今まで説明が足らなかったところもあります。近隣市町の金額とのバランスなども見ていただいて、今回提案している金額が低い、高い、安いという意見をこの場で言っていただければなと思っております。</p>
委員	<p>先ほどからお話聞かせていただいて、ごみ袋をちょっと上げるか、ごみの収集委託料を減らすかという兼ね合いも出てきたと思うのですが、私も波賀町の田</p>

	<p>舎に住んでいるので、例えば宍粟市は非常に広い範囲なので、特に高齢者の方とか冬場雪が降ったりして、遠いところへおじいちゃん、おばあちゃんのごみ抱えていくことも大変やと思う。場所を減らすよりは、ごみ袋代がここに上がっているくらい上がったとしても、その便利性、そういうものを優先していただく方が、宍粟市全体にとってもいいかなと思います。ただ、種類によって、例えばプラなんかはあまり出ている日が少ないとかそういうところはいくらか見直したらいい。基本的に今手数料の見直し案を出していただいて、これは10年先のことを考えたら、人数減って、経費はかかって、もっと上げればというすごい意見もあったけれども、そこまでしなくても、非常に妥当な金額かなと思います。合併してから全然上がってないということであれば、これだけ物価も上がって、当然原材料も上がって、上がらないのは我々の人件費くらい。それで、むちゃくちゃ高いこともないし、これくらいの値上げを議会の承認を得てする。ごみ袋は上がるが、それを一つのきっかけとして、ちょっとでもごみ減らそうとか、リサイクルに回そうとか、そういう意識づけをするような企画、イベント、啓発というか、そういうのを行政でやっていただいてもいいかなと思う。私も今学校に勤めている関係で、家庭科の本があるのですが、ごみのことがちゃんと出てきて、無駄を減らすリデュースとか、もう一度生かすリユースとか、資源として使えるようにリサイクルとか、ちゃんと3Rが出てきています。これは小学校5年生で習うのですが、この本を見ていたらこういうのがあって、小学校での出前授業で、ごみの減量やリサイクルを市の担当者の方が出前授業をするというような感じで、宍粟市の分け方を、子供たちにも分かりやすいように、やっぱり意識の問題だと思うので、小さい頃から啓発していく、そういう取組も大事や思うし、3年生4年生では、私たちの宍粟という社会科の副読本があって、これにごみ処理の問題も出てくるのです。これはあくまで社会科のごみを処理する仕組みという形で出てくるのですが、その中に、ちょっとでもごみを減らすとか、リサイクルとか付け加える、そういう教材にしたら減るかなと思う。だから意識すれば、1枚5円上がっても、これを機会に5年分ぐらいはごみを減らそうとか、リサイクルに回そうとか、しっかり分けていこうとか、それから私も自治会の役員をして初めて分かったのですが、各自自治会の資源ごみ回収ボックスへたくさん持っていけば持っていくほど、自治会の交付金が増えますよね。だから、そういうことをちょっと意識すれば、値上がり分ぐらいは減らそうというきっかけにして、この見直し案で検討していただいたらいいと思います。</p>
委員長	<p>意見としては、角度の違うところから聞かないといけないと思うので、どうでしょうか。</p>
委員	<p>先ほど教育ということで言われていましたが、実際に私の息子が、去年、神野小学校ですけど、実際に市の方に来ていただいて、環境学習をされた。最終的には、学習発表の場で、シロクマ君が、ちょっと水が少なくなって困ったっていうので、お手紙を子供たちとやりとりをしてという劇で、そういう環境、ごみの分別に関する授業をしていただいて、実際私がこれに申し込んだのもそれをきっかけに参加させていただいたのですが、やっぱり教育、そのあと子供たちが手作りのポスターをつくって、神野地区のカワベさんとかにポイ捨ては駄</p>

	<p>目だよというような手作りのポスターがいっぱい張ってあるのです。それは本当に、子供たちにも記憶に残っているし、やっぱり私たち親も、気をつけなあかんって子供たちがつくったのを見て思う。それはとてもすごい取組だと思います。この学習について、去年、4年生だったのですが、宍粟市全域の4年生全員を対象にされているのですか。それとも、学校の先生が依頼をされてという形でされているのですか。</p>
事務局	<p>環境学習は、出前講座ということで、要望に応じて行かせてもらっています。特に学校などには校長会で案内しており、今年度に関してはキエーロも含めて、出前講座をずっとやっております。特に、去年からは環境学習ということで資料も出来、力を入れてやっておりました。</p>
委員	<p>できれば、教育の平等ではないですけども、この学校では出来て、この学校で出来ないというのはやっぱりもったいないかなと思うので、できればそういう機会をもっとつくっていただけたら、すごくありがたいと思います。</p>
事務局	<p>環境教育は、令和4年度、特に小さい子供から環境教育を受けていただいて、世界の動き、日本の流れとか、あと、もちろん資源ごみのリサイクルのことであるとか、減量化、様々なところから、小学校の間から教育を受けていただく方が環境教育は将来に渡っていいのではないかとということで重点的に昨年度から取り入れております。学校の校長会等を通じて、こういった講座をしておりますと、生活衛生課から投げかけをさせていただいて、そんな中で先生からお呼びいただいたところに行かせていただいているということです。出前講座のプログラムの中にありますので、こちらから行くというより先生の方から来てくださいと言われたところだけになっていますけれども、本当はおっしゃるとおり、平等に、その学年になったら、環境教育というようなプログラムの中でやるのがいいのかなと思っております。引き続き、教育委員会にも、この提案等もあったということで、さらに申込みについて積極的にいただけるように働きかけをさせていただきます。</p>
委員	<p>ぜひその環境の問題を、子供たちだけじゃなくって、高齢者の方にもお話しするような場所をつくってほしいです。うちのおじいちゃんおばあちゃんも、先ほどおっしゃったように、私たちが言っても聞いてくれないし、私たちが言っても理解出来ない。なので、100歳体操とかいろんな出るところがあると思うので、子供たちは本当に今宍粟市民の数%になるぐらいになっているので、子供たちに一生懸命伝えても、伝わるのは多分親世代だけなのです。核家族で終わっているから、やっぱり大多数を占めている高齢者にも、ごみの分別、やっぱりそこを一からしてもらって、やっぱ変わっているところをね。交通ルールだって変わって気づかない人がいる。それはもう年関係なく、18歳になって免許取った人もそうです。でも、ごみは毎日のことなので、全世帯に環境教育をという部分では、高齢者にもぜひお願いしたいです。</p>
事務局	<p>宍粟市も出前講座ということで、一応10人程度集まれば、こちらのほうから出向いていくという講座があります。既に先ほどおっしゃっていただきました</p>

委員	<p>た、いきいき 100 歳体操であるとか、何かの集いの場に合わせて、そういう職員の出前講座、環境についてということで、受けている自治会も複数ありますので、ぜひそういった出前講座の活用をお願いしたいと思います。</p> <p>今おっしゃられたのは非常にいいことだとは思いますが、ただ、私的には行政にお願いしたいのは、要するに、悪い考え方の人がいる、ここでとまったらごみをするみたいな人がいます。大体、同じ場所に似たようなものが落ちているという不法投棄的なことに関して、もう少し力を入れてもらえないかなと思う。取り締まる方がいいとは言わないですが、子供たちのいいところはどんどん伸ばしてほしいですけども、悪いところは悪いってもっと不法投棄的なことも、あそこには、ずーっと何年も前から同じごみがそこにあるなんて、私的には許せないので、そこはやはり行政からも、その地権者もそうですし、経過もそうですし、誰かが捨てたのだらうと思うので、やはり、そこは突き詰めて、罰を与えると言えば語弊があるかもしれませんが、やはりそういうことも、教育の中には必要と思いましたので、そういう面、そういう見方もお願い出来たらと思います。</p>
委員長	<p>大体方向づけも見えてきたのではないかなと思います。ただ、袋の提案の煮詰めは出来てないですけど、この中で考えていく道筋が、提案としていいかなという考え方と、やっぱりまだもうちょっと、行政として考えながら、値段上げるとか、とめるとか、その辺をもうちょっと煮詰める必要があるのかという部分がまだすっきりしていないと思いますが、いかがですか。難しいね。賛否とるわけにはいかないし、出すだけ出してもらわないと。</p>
委員	<p>今自治会としても便利で、困っているというのは、まだ聞いておりませんし、今後何が起こるか分かりませんが、値が上がっての反論とかいろいろあるかと思いますが、今ごみ捨て回収等についても苦情は聞いておりませんので、この状態で袋代の値上がり 5 円、3 円は致し方ないかなと思ったりもするのですが、私個人的な意見です。</p>
委員	<p>もっと上がってもいいのですが、ただ、上がったからよかったなみたいな、紙おむつとかの回数を増やしてよかったと思う。よかったというのは、非常に受けがよかったというか、当然子供たちもそうやし、今からは高齢者もありますので、特に都会の方は、置くところに困っているのかなと思いますので、そういう何か目玉みたいな、これを上げるから、これをしますみたいな何か取引みたいでよくはないですけども、せめてそういうふうな、よかったなって言えるようなことも考えていただければありがたいなと思います。</p>
委員	<p>私もごみ袋値上げもこの程度の値上げなら別に構わないかなあと思うんですけど、ただ、ちょっと話を聞いている中で、何か、今まで全然ごみ袋の値段を変えてないから、この物価高騰に便乗して上げてしまおうかなって印象がすごく強いですね。だから、そういう部分では、いずれは上げるけれども、例えばこういうことを今後していきましようとか、あとごみの削減目標、これって絶対もう 1 年 2 年で結果が出るのではなく、長期的になってきてしまうの</p>

	<p>で、そういう目標を立ててやっていく上で、やっぱりちょっと厳しいから上げますにするのか、その辺りが今の状態やったら何か上げる理由がちょっと納得しづらいかなと思うので、今までこうしてきたけれども、ちょっと現状ではもう厳しいですっていうのを、納得できるというか分かりやすくした上での値上げじゃないとちょっと私は難しいかなと思います。もちろん上げることに反対ではないです。上げて別にも構わないと思うし、むしろ粗大ごみは、もうちょっと値段上げてもいいとは正直思いますが、ただその理由をもうちょっとしつかりと、検討というか、話し合いたいなと思いました。</p>
事務局	<p>恐らく、その結果だけではなく、将来的なことも見据えた上での、条件的なものも含めて考えていくべきではないかなというようなご意見かなと思います。私もこの間いろんな市民の方とか、以前委員さんからもありましたが、宍粟市のごみ袋の種類、可燃には45リットルと30リットルしかないですけれども、ひとり暮らしであったりとか、1人に限らず2人の世帯については、30リットルでも1週間に1回でも余っている、そういった余った中でもったいないから、余分なごみまで入れてしまうような意見もあったりもします。そういった中で1人世帯の方とかそういった方に対してのごみ袋のあり方も検討してみてもどうかと思っておりますけれども、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>確かにね、生ごみを自分で処分して、プラごみを分別して、紙は紙で分ければ、ほんまにゴミはないです。だから、つい何か他に入れられない、可燃ごみで入れないと仕方がないそういう処分に困ったものを入れることがあります。私も、値上げの理由づけももちろん、いろんな理由がありますが、やっぱり少し、私はもっと値上げしてもいいと思っていますが、ごみ袋が上がることによってごみに対する何か意識、今までちょっと違うのかなあとか、ちょっと考えなあかんのかなというふうに、年いったものは年いったなりに考えるきっかけにもなればいいかなと思うので、このごみ問題は、ごみ袋代をいくらに上げたで終わる問題じゃないので。それこそ、さっき言ったように子供からの教育もあるし、年配者に対する啓発もあるし、それからまた歳入ばかりじゃなく歳出で、役所がもっと考えていただかないといけない問題もあるし、一筋ではいけない問題だと思うので、ごみ袋の値上げは、私はそのきっかけかなと捉えています。</p>
委員	<p>それでいいと思いますよ。今のこの修正案でね。そんなに上がっているわけじゃないし。それで、一つずつと思っていたのですが、ごみステーションがうちの村に三つあります。上中下と、三つあって、普通のごみの袋に、ペットボトルみたいなものがたくさん入っている家もあれば、それはきれいに洗って、シールもとって、直してあるというステーションもあります。全部が全部そうではないですが、ごみステーションというのは、やっぱりなくすとか減らすとかいうのは、やめてほしいなとは思っている。三つに分かれているから、そんなに持っていくのに時間がかかることはないと思う。それはぜひともやめてほしいなと、いいところもあるのでね。ぜひそれをお願いしたいと思います。</p>
委員	<p>ごみ袋の値段に関して、平成22年度から5年後ぐらいにもぼんと上がって</p>

	<p>ます。これだけ上がっているのです、そこから割と落ちついているようだが、一つのはっきりした原因としては製作料が上がっているから上げますということを出しても別に構わないと思います。実際に、材料も上がっているし、この単価がこれだけ違ってきているので、3円か5円だったらいいのではないかなと思います。あと、今ごみステーションの話が出ましたが、意外とプラごみは潰したら本当に小さくなるので、多分汚くもないと思います。ただ、コンビニで買ったものをそのまま捨てる方はもうルール違反なので、もう論外で、それやったら、今、びんや缶のリサイクルを集めているところでも腐らないからいいのではないかなと思います。そうすればいつ行っても出せるから出しやすいのではないかなと思う。日にちが決まっていて、例えば1週間に1回だったら覚えているけど、これが2週に1回となると忘れた、次2週間待たなきゃというのがあるから、あと不燃とかもあそこに出せたらいいなと個人的には思っています。</p>
委員	<p>ごみの袋って、男の人が買うより主婦の方が多いと思うので、値上げするなら何年先に値上げしますからっていうことを周知してもらっていたら、いろいろ考える時間があると思う。こうしなければとか、分別をお年寄りの方とかに説明することもあるのですが、やっぱり主婦もそこに入ったほうがいい。生ごみ入れる容器は置いてあっても、プラ入れるものはないので、ちょっと忙しければ分別せずにパッと捨ててしまう。それとうちは孫がもう中学生と高校生ですけど、部屋から持っておりてるごみがほとんどプラです。その中に燃えるごみが入っていたりするのです、一応、分けたりはします。それを主婦に説明してもらって、それをお母さん自体が伝える、お母さんが子供に説明を出来るように、そういう講座もしてほしいと思う。</p>
委員	<p>値上げに関しては、金額がどうこうというよりか、話はごみじゃないですけど、防災センターの施設料も、今まで変えてなかったから、先ほどおっしゃったように、今まで変えてないから今回検討しますみたいなのが何か宍粟市は割と多いなって思う。何か今までやってないからあげますと聞いても、あんまり一市民としては納得が出来ない。今回も今すぐ値上げをしないといけないのか、すぐ値上げを急いでいるのか。例えば、物価高騰は、全てにおいて一緒ですけど、家庭で考えたときに、支出がどんどん値上げして増えたからといって、収入を増やしましょうってなかなか家計では難しいので、家計で考えると無駄なものはどこが削れるかなということをまず考えます。このごみのことも、宍粟市は今まで、この収集にかかる支出、これだけ努力してやってきたけれども、それでもきついついから今回値上げしないといけないというところがちょっと見えにくいのかなっていうのと、給食費も今回また上がるのですが、給食費もずっと変わってなくて、食材も上がってきたから上げますっていうことでした。例えば給食費の場合は、上げないと本当に品質が下がってしまうとか、子供の食べるものの質が落ちると言われると、品質はやっぱり維持してほしいので、そこはあげてくださいっていうふうに親としてはなる。このごみも、これだけ努力をしましたっていうところをもっと見えたほうがいいのかなって思う。あとその子供の教育、小さいときからごみのことというのもすごく大事だと思いますが、学校で習ってごみを減らさないといけないというのは分かるけど、実</p>

	<p>際に行動に移すところまでってなかなかないので、例えば上勝町のように、分別してあるところに、いくら利益になりますとか、いくら出てきますみたいなものが表示されていて、以前テレビで、ここにこれを入れるとこれだけ町が潤うとか、これだけ処理するのにお金がマイナスになるというのが見えるのがすごく分かりやすいって町の人が言っているところを見たことがあって、各自治会のステーションとかに、リサイクルするとこれだけ宍粟市に利益になりますよとか、何かそういうもっと見える化、リサイクルをしたくなるような何かシステムがあつたらいいなと思いました。あと、ごみ袋が上がりますと言うだけではごみはあまり減らないかなと思うので、もっと市民にごみを減らす努力をしないとごみ袋が上がりますよぐらいに、脅しじゃないですけど、事前に言って、多分この場だけで決まってごみ袋が上がりますと言われても、そんなこと知らなかったとか言われたりするんで、市民で考えられるような周知の仕方というか、何か値上げをするなら、それと同時に、何かキエー口をもっと勧めるとか、何か同時に打ち出していけることを考えられたらいいなと思いました。</p>
<p>委員</p>	<p>これはちょっと難しいですわね。皆さんの意見を聞かせていただくのに、それぞれもっともなご意見を述べられているのですが、それは、全て回答かといえば回答ではないし、やっぱり多数の意見を持って、それでやっと回答になる。だから、これも市の方々、一生懸命考えておられるのですが、どうしていいか分からないと思います。行政的にはやはり、少しは上げなければいけないし、一度に上げれば市長の人気も落ちるし、というようなことにもなってくるだろう。だから、ある程度はやっぱり仕方ないのではないかなと。では、どの意見が正しいかというのは分かりません。そういうことで、皆さんの流れに賛成します。皆さんの意見に行くように手を挙げます。</p>
<p>委員</p>	<p>議事録を送っていただいたので、それを読みながら、私前回は、値上げは最終手段にしてほしいというふうに言いましたが、ここ来るまで、やっぱり値上げが必要かなあというふうに思ってきた。ごみを減らすのが1番であって、その努力はしなきゃいけないですけど、それはやっぱりすぐに目に見えるものではないし、それと、資源の回収を始めたときに、経費は増えたという説明もあったので、ごみを減らすことが経費を減らすこととなかなか一致しないということもあるのではないかということを考えたときに、行政としては、やっぱりこれだけは、この期間に収入を増やしたいという金額的なことはあるのかなと思っています。それで、今日、見直し案、どれぐらいの値上げになるのかなと思っています。私のでですけど、私の思いとしては、話聞いていたらどんどん余計に分からなくなるのですが、それでもやっぱり値上げは必要かなあと思いました。それともう一つは、先ほどひとり暮らしだともっと小さい袋の検討もというお話だったんですけど、私も、しばらくの間ずっとごみのことを考えて何とか減らせないかと思っていましたが、なかなか減らなくて、普段大きい袋を1週間に多いときは二つ出るときがあります。それを何とか一つにしましたが、小の方を買ってみたときにすごく小さく感じて、何とか大を小にすることが出来たら、45リットルが30リットルなので、3分の1減ることになる。すごい削減になるので、例えばごみ袋が、1.5倍に上がったとしても、3分の2の量のごみ袋が、今の大と同じ25円だとしたら、家計での負担は25円が1枚ずつというので変</p>

	<p>わらないけどごみの量は減ったということで、1番いいけどなかなかそれが出来ない、ということをちょっと今日、家で考えていました。今、ごみ袋代を上げるかどうかはまだ決着ついてないですが、私の一つの意見としては、可燃の大は値上げしても、可燃の小は値上げせずに、何とか小を使うように誘導じゃないですけど、大を使っていた人が小を使ったら、今までどおりの25円ですよ、23円ですよというぐらいのちょっとアピールというか、そういうことが一つ出来たらいいかなと思いました。ただ、今、会議の様子聞いていて、本当に分からなくなってくる。どんどん、いろんな意見があって、値上げに賛成と思ってきましたけど、本当にそれでいいのか。ただ、先が見えないので、いつまでたっても意見がまとまらないのではないかとということも考えるし、先ほどの意見と同じように、皆さんがまとまる方向に賛成してやっていきたいなと思っています。</p>
<p>委員長</p>	<p>大体一通り聞かせていただきましたが、まだちょっと言い忘れたよというところはないでしょうか。補足はありませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>値上げに賛成か反対かという2択になってしまったら、反対です。でも、反対しても賛成になるのだろうかという意見もあります。答えの出ないというのは、本当にこういうことだなと思います。袋の小さいものが出来ても、私の家も足りません。でもひとり暮らしさんだと、小さい袋が必要だし、必要なものはつくった方がいいと思いますし、あともう女性だけとか、主婦だけという目線ではない時代になってきているので、もちろん主婦にもそういう話は必要ですけど、特に男性にももっと、このごみという部分を、女の人が出す、男の人が出すというそういう次元の話から始めないといけない問題じゃないのかなって思いながら聞いています。2択になると反対ですが、答えは出ません。これがはっきりと今の気持ちです。</p>
<p>委員長</p>	<p>本当に2択では難しいと思います。今、いろんな提案していただきました。上がるには、きちっとした理由があれば、致し方ないなという意見が皆さんの本音だと思う。いくら高くしても、意識の問題だと思うから、安くしようが高くしようが意識がなかったら何もならないから、これを機会に、意識を高める上での値上げも致し方ないかな。しかし、それだけ市民に理由をしっかりと伝えるっていうのは、すごく今、皆さんの思いの中でひしひしと伝わってきたから、実際そうだと思います。それと、子供からお年寄りまで、啓発というのをしないといけないと、主婦だけの問題じゃない。ここにおられる男性には申し訳ないけど、ごみの分別は大抵女性がされている家がほとんどだと思います。だから、男も女も子供もそういう勉強する機会が欲しいと思います。実際私たち消費者協会も、学童のところですけど、夏休みに勉強講座はしています。子供からお父さんやお母さんに何かアピールしてくれないかなっていう思いも含めて、そういう講座は持っています。だから、そういうことをこれから考える手だてとして、とりあえずの方向性としては致し方ない。だんだん声が小さくなりますけど、致し方ないかなあという方向のもとに、市の努力も含めて、大義名分じゃないですけど、きちんと上げるための、物価上昇に便乗ではなく、本当に必要なこと、今はこの程度の提案だけど、あんたらちゃんとしないともっと高く</p>

	<p>なると、脅しじゃないけど、それだけごみ問題は世界中の問題です。袋が高くなるとか安くなるとかだけの問題ではなく、そこを踏まえないと駄目だと思うので、これ以上高くしないためのごみを減らす努力をするきっかけということで、しっかりアピールしてもらおうことが大事だと思います。それと、ごみの出し方がどんどん変わっています。段ボールもくくらくなくてもいいと言われる。でも、実際はたくさんあったらくくってもらった方が、多分回収業者はいいと思います。バラバラよりもある程度まとまった方がいいと思う。あと、ガス缶。そのまま出したら爆発しますので、きちんと最後までガスを抜く。そういう細々としたことが部分的にしか伝わっていないので、もう1回改めて、そういう簡単なこと、本当は1枚だけならくる必要はないけど、まとまったら、やっぱり段ボールはくくってほしい。ガス缶は穴を開けなくていいと言ったけど、ガスは使い切ってもらわないといけない。抜かないと不都合が起こるとか、そういう小さい項目をまとめたものを、身近なところに張ってもらおうとかそういうのは、市がPRじゃないですけど、地域の方に分かっていたきたいなというのは、再認識の中でしてほしいなと思います。皆結構、過去に出た広報の中の記事、ご存じないです。でも、この際、そういうことも認識してもらって、改めて、ごみ問題から出し方問題を、こういう紙に出してもらって、部屋に貼っておきましょうと、そういう努力もしていただきたいなと思います。知らん間に、当たり前になっていることがすごくたくさんあるので、もう1回、ごみの出し方をみんなが再認識するための資料づくりをお願いしたいなと思います。</p>
事務局	<p>この料金を上げること、手数料上げること、イエスかノーかという多数決をとってくださいとお願いしているわけでは最初からありません。いろんな意見が出てくると思いますし、その中で、前回、市の考えているところを示してくれということがあったので、今考えている金額をお示しして、これをたたき台にしてもらって、それで意見をいただければありがたい。今回の皆さんの意見を持ち帰りまして、次回、ある程度この委員会としての意見書をまとめていかなければいけません。最終的にいろんな意見が出たというふうにまとまってくると思います。賛成でしたとかそういう意見ばかりではないと思いますので、次回までに今日いただいた意見を取りまとめて、意見の素案をつくり上げてきますので、次回はその部分を確認していただいて、揉んでいただければなあとと思います。</p>
事務局	<p>次回の日程の提案をさせていただきます。同じ今月になりますが、10月30日、北庁舎になりますが、いかがでしょうか。同じ時間で月曜日になります。</p>
委員	<p>すみません、終わってしまいそうなので、資料の5で、1セットが20枚というのは決まっているのかというのが一つと、資料4の、旧ごみ袋の手数料の税込みというのと、税抜き、税込みとかいうのと、前回8月にももらったときには税が抜いてあったりとか、いろいろちょっとずつ数字が一緒のような、違うようなことがあるかなと思う。ごみ手数料の見直し案の最後の税込みと書いてあるけど、どこかで市は消費税を納めないと言われていたように思うのですが、その扱いはプラスみたいな形になっているのかなと思う。</p>

事務局	最初インボイスを導入する時に、はっきり消費税を明示するというので、現状に近い数字を、その時には税込みで 25 円としておりましたので、それを税抜きにするとときに整数処理する中で、25 円が 23 円になったという経緯があります。
委員	前は非課税だったのでは。
事務局	非課税でその認識が非課税でないというところから、それを課税にするということで、その中で整数にするという作業で 23 円になったということを説明させていただきます。
委員	旧のごみ袋の手数料は、非課税であったわけでしょ、25 円。
事務局	そうですね。
委員	今回は税込となっているからという単純な話です。
事務局	すみません。この表、資料 4 の 1 番上の税込みと書いてあるのは間違いですね。1 セット当たり 500 円は元々非課税ということで、税務署から承諾を得ていたわけですが、今回インボイスを考える中で、ごみ手数料については非課税ではないという判断で今回課税にさせていただきました。今回この表示で税込みと書いてあるのは、間違っているということで、訂正をお願いしたいと思います。10 月 1 日からのインボイス導入で、税を表示しなければならないということで、昨日から、もやすごみ袋大で 1 セット当たり税込み 506 円とさせてもらっています。
委員長	その辺は理解していただきましたでしょうか。9 月 30 日までは非課税、10 月 1 日からはインボイスの関係で 506 円になったということで、1 枚当たりの単価でしか変更ができなかった。1 セットにしたらキレイにいけますが、1 枚当たり 25 円で計算がされてきているので、それを一番 500 円に近い値段で換算したら 23 円だったので、それに税を組み込んだら、506 円になったという、ちょっとその辺は理解していただけましたでしょうか。だから 23 円はある意味インボイスの関係で降ってわいた数字です。25 円と言っていたのが、途中から 23 円になっていた。課税になった途端にね。非課税が課税になったときに、一番 500 円に近い値段を割り出したら、25 円が 23 円になって、506 円になったということです。非課税だったものを 500 円に近い値段にするために、無理やり 23 円というのを打ち出した。23 円を 20 枚にしたら、460 円プラス 46 円で、506 円になったという計算です。だから、計算上で、無理矢理に打ち出した数字、非課税が課税になったために出した数字です。見直し案は、それにのっとって税抜価格での換算です。だから、袋ではなく、1 枚当たりの単価で計算しないといけないから、ちょっと分かりにくかったと思います。ちょっとだけ一定の方向は向いたけど、2 択で、方向は、一つにははっきり言ってならないけど、なるためのしっかりとした提案を出してもらわないと納得出来ない人が何

事務局	<p>人もあると思うので、ここの委員を納得させる材料を次回事務局は見つけてほしいなと思います。</p> <p>提案をこの1か月で、お示しするのは難しいですが、意見の方向性として、皆さんからこういう意見が出たというところをまとめまして、市長にこういう意見が出ましたと説明させてもらいますので、その代わりに、次回までに、何かいい案出してこいと言われても、考えてはみますが、具体的な意見をお示しできるかは分かりませんが、次回はこういう意見が出て皆さんからこういう条件をつけましたとまとめた分をつくろうと思っております。そのあと、いろいろな提案をさせてもらう。それで一つ、ステーションの数であるとか、具体的に頭の中では持っておりましたが、それについても今日いただいて、大体皆さんのご意見も分かりましたので、また何かいい案がありましたらお示ししますし、また皆さんからも、いろんな意見をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。次回の場所はここではなく北庁舎になっておりますので、お間違いないようよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>目標の話が出ましたので、少し補足させていただきますが、宍粟市では一般廃棄物処理基本計画というものがあって、その中で、リサイクル率や1人当たりの量の目標を定めております。ちょうどその計画が来年度更新予定で、今回の意見も、その中に新しい案も盛り込んでいけたらと考えております。また、事務連絡ですけれども、今日までの1回から4回までの費用弁償を、今月中に支払いたいと考えております。</p>
事務局	<p>先ほどの目標の話ですけど、具体的に、ごみ処理計画の中には、令和6年度を目標年度に、1人1日当たりのごみの総排出量を、店頭回収、集団回収を含めて、700グラム以下という目標を立てております。それから、リサイクル率については30パーセント以上という目標を立てておりますが、先ほどの資料3を見ていただきますと、宍粟市は令和3年度で、788グラム、1人当たりのごみ排出量788グラムでありますし、リサイクル率については24.7パーセントになっています。これを令和6年度、もう来年度ですけれども、それまでに目標としては、700グラム以下、リサイクル率30パーセント以上という目標を立てておりますので、それに対して、どういうふうな施策を進めていくかというのは、今後も考えていかなければいけない。次回の処理計画を来年度作り直しますので、最終年度、見直す際にはできるだけこの目標に近づけるように、頑張っていきたいなと思っております。</p>
委員	<p>88 グラムを減らすのにみんなでこうしますよってという具体的な取組が提示されるわけですか。</p>
事務局	<p>ごみ処理の基本計画に掲げている方針としましては、水切りの徹底であるとか、食べきり運動の推進とか、ごみの分別の徹底を行い、減少を目指します。あと、燃えるごみに含まれている資源化可能物、いわゆる資源物の分別を徹底して、燃やすごみを削減するとともに、リサイクル率を30パーセントにしましょうという目標を掲げております。</p>

委員	徹底って言ったらい言葉だけど、徹底するために何をするとか、もう少し具体的なものを言ってもらわないといけないのかなと思いました。
事務局	それに対しては市で達成できるように、何か施策をしていく中で、高齢者では分別が難しいというような環境教育の部分も多数関係しているかなと思いますので、出前講座であるとか、高齢者大学、100歳体操とか、あらゆる集まりごとのときに、分別の仕方などをお教えさせていただく。また、広報等でも、いろんな方法を推奨していくように掲載していくというのは、引き続き続けていきたいと思っております。
委員長	大体、基本計画は提案としていただいているので、それを、実行していくというのは今からの啓蒙にかかってくると思うので、まずここから発信して、1人で2人、努力目標が、増やせる人を増やしていきたいと思います。大変でしょうけど、どんどん提案してもらって困っていることは言ってもらわないと駄目だと思うので、ええ恰好していてもごみは絶対減らないから、気がついたことはお互い出し合っていきたいと思います。
事務局	ありがとうございました。それでは次回の日程はよろしいですか。
委員	はい。
事務局	それではもう大分時間も押していますけど、閉会にいきたいと思います。今日、副委員長がお休みですので、閉会を引き続き、委員長よろしく願いいたします。
委員長	閉 会

\* 発言者の表記は、「〇〇議長」、「〇〇委員」、「事務局」とする。